

140 キビタキ

(スズメ目)

兵庫県ランク:要注目

Ficedula narcissina

繁殖個体群:注 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:指定なし

種の概要

亜種キビタキは北海道、本州、四国、九州で夏鳥。別亜種リュウキュウキビタキは沖縄で夏鳥として分布する。兵庫県では主に4-11月に見られる。低山から山地の落葉広葉樹林から針広混交林に生息し、樹洞やキツツキの古巣などに営巣する。ブナなどの大木が繁る比較的明るい林で飛んでいる昆虫類をフライングキャッチして食べる。秋には木の実も食べる。渡りの途中では山麓の社寺林や平地の都市緑地にも飛来する。



写真提供:三谷康則

国内分布

北海道、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、男女群島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(尼崎市)、明石市、西宮市、洲本市、伊丹市、豊岡市、加古川市、赤穂市、西脇市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、神河町、(太子町)、(上郡町)、佐用町、香美町、新温泉町
※県内繁殖有



生息確認時期
■ 2003年以降
■ 2002年以前

主要な選定理由

影響の人為性				生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性		
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要注目に変更。
山林開発とともに一時急減していたが、最近では減少傾向が止まり、個体数は回復の傾向にある。また自然環境の残る広葉樹林の指標種としてや都市における樹林地の自然再生の指標種としても大切である。



写真提供:但馬野鳥の会

保護上の留意点

繁殖場所となる樹齢の高い落葉広葉樹林が植林地や開発用地に置き換わったため、繁殖数が減少した。もともと繁殖環境が脆弱なため、主要な繁殖環境である山地の自然度が高い落葉広葉樹林を保全・再生することが重要。